

はじめに・・・

誰もが心豊かに暮らせる“文化・芸術のまち 岸和田”の実現

岸和田市は、2023年、市制施行101年目をスタートしました

そして、「将来ビジョン・岸和田～“新・岸和田”づくりの総合計画」に基づく分野別計画として「文化創造ビジョン・岸和田－文化 花 咲かそう・岸和田－」を策定しました

これは、「将来ビジョン・岸和田」の基本理念である

『笑顔にあふれ、誰もが‘幸せ’を感じる都市の実現』をめざすため、笑顔と幸せを生み出す“文化・芸術のまち岸和田”づくりを推進していくための行政計画です

第1章 ビジョンの策定に当たって

1 ビジョン策定の背景と趣旨

本市では、平成25年に施行した「岸和田市文化振興条例」に基づき、平成27年9月に「文化 花 咲かそう推進プラン-岸和田市文化振興計画-」を策定し、「誰もが心豊かに暮らせる文化のまち岸和田」を基本理念として4つの基本目標を掲げ、文化振興の推進に関する取組を総合的・計画的に推進してきました。前プランの策定以降、新型コロナウイルスの感染拡大により文化芸術活動において甚大な影響が生じるなど、文化を取り巻く状況は大きく変化しました。前プランの終期を迎えることから、基本目標を継承しつつ、「誰もが心豊かに暮らせる“文化・芸術のまち岸和田”」の実現を図ることを目的として「文化創造ビジョン・岸和田－文化 花 咲かそう・岸和田－」（以下「本ビジョン」という。）を策定するものです。

2 ビジョンの位置づけと計画期間

本ビジョンは「文化芸術基本法」第7条の2に基づく「地方文化芸術推進基本計画」、「岸和田市文化振興条例」第7条に基づく「文化振興計画」として、また「将来ビジョン・岸和田」の具体的な部門別計画として位置づけ、策定します。

本ビジョンの期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

第2章 岸和田市における文化の現状と課題

1 岸和田市の文化の背景とあゆみ

終戦間もない昭和24年に岸和田市文化祭が開催され、翌年には、公募展である市展の開催が始まるとともに公民館が開館するなど、市民を中心とした地域文化活動が盛んにおこなわれるようになりました。現在では、文化団体や文化活動の実践者などが加盟する岸和田市文化協会、岸和田文化連絡協議会、岸和田文化事業協会の3つの文化団体のほか、各種文化

団体や市民が、それぞれ自発的に、そして活発的に文化活動を展開しています。

主たる活動と発表の場としては、浪切ホール、文化会館（マドカホール）、自泉会館、公民館、市民センター、民間ホールなどとなっており、身近な場所での活動が盛んです。

2 市民・団体及び保育・教育関係施設の意識

文化に関する市民意識や文化活動の実施状況等を把握することを目的に「芸術分野の取組みに関するアンケート調査」を令和4年8月に実施しました。

一般市民	<p>○伝統的な祭りや歴史的景観が評価される一方で、文化・芸術イベントの開催や市民による活動の活発さ等については認識されていません。</p> <p>○過去1年間に何らかの文化・芸術を直接鑑賞した人は71.9%を占めていますが、過去1年間に何らかの創造活動を行った人は24.6%にとどまっています。鑑賞、創造活動とも新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けています。</p> <p>○文化にふれることについては、90%近い人が大切だと感じており、今後の方向性として文化芸術にふれる機会を増やすこと、特に子どもたちに対する取組が重視されています。</p>
文化団体	<p>○新型コロナウイルス感染症により活動の中止・縮小を余儀なくされた団体が多く、会員の確保、後継者の育成が課題となっています。</p>
保育所(園)・幼稚園・小中学校	<p>○鑑賞・体験事業の内容は、音楽、演劇・人形劇が中心です。新型コロナウイルス感染症により令和2・3年度の鑑賞・体験事業が大幅に減少しています。</p>

3 今後の施策推進に向けた課題

- 高齢化による後継者の育成
- 子ども・子育て世代など、次代の文化を担う人材の育成
- 地域の文化力の向上やまちづくりなど関連する分野での有機的な連携
- 文化・芸術に触れる機会の創出
- 未就学児童、小・中学生の文化・芸術の鑑賞や体験の機会の創出
- 文化活動の環境づくりの推進
- 円滑かつ良好なサービスの提供

第3章 ビジョンの基本的な考え方

1 基本理念

『誰もが心豊かに暮らせる“文化・芸術のまち 岸和田”』

2 重点目標

文化を取り巻く環境の変化、アンケート調査などの結果をふまえ、次の2つの重点目標を掲げます。

重点目標1 子どもたちが文化・芸術にふれ、創造性や感性を育む

子どもが幼い頃から文化にふれることは、豊かな感性を養うとともに、想像力や創造性、コミュニケーション能力を育むなど、さまざまな可能性を高めてくれます。また、子どもが継続して文化に親しむことは、将来における創造力を発揮し、活躍する人材としての成長につながるため、特に基本目標Ⅰを推進していきます。

重点目標2 効果的な情報発信および文化芸術への関心の喚起

場面・地域・年代などの対象に合わせた効率的かつ効果的な情報発信を行えるよう、広報紙やSNS等を活用します。また、市民ニーズを把握しつつ、公演・教室・講座や文化施設の情報を集約し、提供することで、文化のネットワーク構築を図ります。

第4章 施策の推進

基本目標Ⅰ 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

- 1 就学前の子どもたちが文化にふれる機会の重点的な創出
- 2 子どもたちに対する文化プログラムの充実
- 3 小中学校などの学校教育機関における文化事業や地域との文化交流の推進
- 4 子どもたちの文化活動への育成・支援
- 5 国際交流の推進

基本目標Ⅱ 輪を広げる

- 1 発表・鑑賞機会の充実
- 2 高齢者、障害者等の文化活動の充実
- 3 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催
- 4 文化団体への支援
- 5 文化事業への市民参画および文化交流の促進
- 6 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化
- 7 文化的視点の導入と連携

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 歴史や文化財等への理解の促進と活用 | 2 伝統行事の保存・継承 |
| 3 自然環境や景観との調和 | 4 文化施設の整備 |
| 5 イベントを活用した魅力あるまちづくり | 6 伝統工芸品などの価値発信 |
| 7 芸術家の活動拠点の創出の検討 | |

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 文化の担い手の育成 | 2 活動団体、個人の表彰制度の整備 |
| 3 情報の収集、発信 | 4 文化振興基金等の活用 |

第5章 文化施設・公共施設

本市では、浪切ホール、文化会館（マドカホール）、自泉会館の公共文化施設3館が、それぞれの施設の特性・機能・規模に応じて、相互に協力をすることで市全体の文化の振興を推進し、牽引する役割を果たしています。3館での合同事業の取組などで、地域の文化を創出する実演団体・実演者と連携するなど、新しい文化創造の場の提供を推進します。

第6章 ビジョンの推進に向けて

1 ビジョンの推進体制

本ビジョンは、市民・団体・指定管理者及び市がそれぞれの役割を踏まえつつ、互いに連携、協働を図りながら進めていくものです。そして、それぞれが持つ力を活かし、協働して取り組むために、文化振興に関わるネットワークを充実する必要があります。

2 ビジョンの進行管理と評価指標

ビジョンを着実かつ効果的に実施するため、PDCAサイクルの考え方に基づき定期的に点検・評価を行い、進捗状況等を客観的に判断できるよう、「将来ビジョン・岸和田」と連動した数値目標を設定します。また、文化施設3館に対しても目標値を定めます。

指標名	現状値	将来ビジョン・岸和田 みんなでめざそう値	最終値
A. この1年間に芸術・文化活動を行ったことがある市民の割合	27.2% (R4)	30.0% (R8)	32.0% (R10)
B. 市民一人あたりの文化施設年間利用回数	2.5回 (R4)	3.0回 (R8)	3.1回 (R10)

C. 文化施設3館の事業評価

(S:計画以上の効果があった A:ほぼ計画どおりであった B:計画をやや達成できず C:計画を達成できず)

文化施設名	4段階評価	過去の平均値	目標
浪切ホール	S	1.5%	5.0%
	A	70.7%	80.0%
	B	26.8%	15.0%
	C	1.0%	0.0%
自泉会館	S	29.9%	35.0%
	A	57.3%	60.0%
	B	12.1%	5.0%
	C	0.7%	0.0%
文化会館 (マドカホール)	S	4.2%	10.0%
	A	80.9%	85.0%
	B	9.6%	5.0%
	C	5.3%	0.0%

文化創造ビジョン・岸和田 ～文化 花 咲かそう・岸和田～（概要版）

発行年月：令和5年●月 発行：岸和田市魅力創造部文化国際課

〒596-0004 岸和田市荒木町1-17-1 岸和田市立文化会館内

TEL 072-443-3800/FAX 072-443-4627